

## 【I】 令和5年度 事業報告

### 1 法人の現況（令和6年3月末）

- 1) 会員数 正会員 21名、サポート会員（個人）82名、（団体）2団体
- 2) 従業員数 職員13名 パートタイマー26名
- 3) 事業の展開状況

令和5年5月に新型コロナが5類感染症に移行し、日常生活の制限も緩み以前のような賑わいが戻ってきました。とはいえデイサービスや作業所では感染症対策が必要なため今まで通りマスクや手洗いなどの対策を続けながら新しい日常を過ごしてきました。

赤い羽根福祉基金 助成最終年度となった「つどい100JOB」の活動も相談数、参加者数も伸びてきました。一般就労に繋がった方も1名おられます。

つどいに関わる人すべてが自分の居場所を見つけ、生き生きとした生活を送ることができるよう、地域が抱える課題に耳を傾けながら日々の活動を法人一体となり進めてきました。

### 2 各部門の現況

#### 1) 居宅介護支援事業

##### ①ケアプランつどい

##### ア 職員体制

管理者（主任介護支援専門員兼務）1名、介護支援専門員2名 計3名

##### イ 事業内容

ケアマネジャー3人在籍しており、特定事業所加算Ⅲを算定しています。

新規依頼は年間28件で、包括支援センターからの依頼が大半を占め、次いで介護者家族からの依頼でした。

年間延1,216件のケアプランを担当し、そのうち要介護の方が821件、総合事業の方が395件を占めています。要介護の方が67%となっています。

事業所内では週に1回のミーティングで利用者様の状況の共有を行い、必用に応じてケース検討を行っています。地域包括支援センターや社会福祉協議会、医療関係者等、他職種との連携を持つようにしています。また他事業所と研修の機会やケース検討会を年2回実施しており、事業所内・事業所外研修については積極的に参加するようにしています。更新研修や災害時対策や感染予防、ハラスメント、認知症等の研修を中心に受講しました。

介護821件、総合事業395件 計1,216件

## 2) 通所介護事業

### ① デイサービスつどい

#### ア 職員体制

管理者（生活相談員兼務）1名、生活相談員（介護職員兼務）1名、看護師3名  
介護職員5名、送迎職員1名

#### イ 事業内容

民家を再活用したデイサービスを実施して13年目に入り、現在のときわ亭に移って6年目を迎えることになりました。現在は定員30名の通常規模通所介護で運営しています。

ときわ亭では、利用者様が住み慣れた地域で、安心して在宅生活を継続できるようなプログラムを提供しています。日常の家事作業はもちろんのこと、お花の世話や大工仕事、お菓子作りなどこれまで培ってこられた経験を生かしていただけるように、「やりたいこと」「挑戦したいこと」など、一人一人の思いを傾聴しながら利用者様主体で活動することを大切にしています。

利用者様のニーズに応える取り組みのひとつとして、個別機能訓練を実施しています。昨年度は身体的な訓練の他に、実際に横断歩道を渡る、買い物を想定した訓練を行うなど応用的な訓練に力を入れました。バリエーション豊かな訓練を実施したことで、利用者様の意欲向上とともに職員の考える力・応用力が鍛えられました。

地域交流として、令和5年11月にときわ亭5周年交流会を開催し、地域の方々や利用者様家族を招待して施設内を自由に見学していただきました。写真展示や動画上映で、普段のデイサービスの様子を知っていただく良い機会になりました。

地域に根ざす施設として、ときわ亭が利用者様や地域の皆様の心の拠り所になれるよう、職員一同が日々工夫して事業運営をしています。

延利用人数 6,705人

### ② 七条つどい

#### ア 職員体制

管理者（生活相談員兼務）1名、生活相談員（介護職員兼務）1名、看護師3名、  
介護職員2名、送迎職員2名

#### イ 事業内容

地域の方からのご縁をいただき工場跡を通所介護に改築して開所した七条つどいも9年目、25名定員の通常規模通所介護で運営しています。

令和5年8月に8周年感謝祭を開催しました。猛暑にもかかわらず、お子さまから高齢者の方まで100人以上の方と賑やかに過ごすことができました。施設見学に来た人達から「私達もじきにお世話にならんとあかんで頼むで」などと会話も弾み、笑顔が絶えない一日となりました。又、この前日には地域のボランティアさんによるマジックショーがあり利用者様と一緒に楽しむことができました。普段なかなかできない地域の方との交流ができ、つどいの活動を身近に感じてもらうことができました。

利用者様の生活の質（QOL）や意欲の維持向上のためそれぞれのニーズに耳を傾け、日常生活活動として、個別機能訓練、家事活動、趣味活動を提供しています。

「人の為にもっと役に立ちたい」「社会・地域に貢献したい」という利用者様の思いを

大切に、施設近辺のごみ拾いをして地域の方に喜んでいただくと共に、顔馴染みになり声を掛けてもらえる関係性ができています。

又、残存する身体機能を活かし生活機能維持・向上を図っています。住み慣れた地域、自宅で可能な限り自立して暮らせることを目指しています。個別機能訓練では利用者様の「続けてやりたいこと」「困っていること」等機能訓練指導員を中心に職員と利用者さんとが話し合い、具体的な目標を立てて特に「できる力」に着目した個別機能訓練を実施しています。本人や家族から「階段が上がれなくなったら困るで、体操して鍛えたい」とのご要望のお声が聴けるようになっていきます。「何かに頼らんと歩けなくなった」との悩みや問題点もあり解決できるように試行錯誤して職員一同、力を合わせて笑顔で活動しています。

延利用人数 5,581人

### 3) 就労継続支援事業

#### ① B型作業所つどい

年間を通し作業所では様々な作業に取り組んできました。

あねがわしいたけハウスではきんたろうしいたけの栽培から収穫に日々努力をしてきました。利用者様の中からリーダーを決めみんなをまとめる役を担ってもらいました。その際、リーダー手当として工賃に反映しました。また、作業所利用者様全員の工賃見直しを行いました。2022(R4)年度は¥16,603だった月額平均工賃を、2023(R5)年度で滋賀県平均¥18,373(R4年度)を大きく上回る¥39,707となりました。(前年度の工賃総額を支払い対象者の総数で割って算定する方法から、R5年度分から1日あたりの平均利用者数を代わりに用いる算定方法に変更されています。) 工賃向上によって、作業に取り組むやる気と自信をもって作業に当たり色んな事ができるようになってきました。

令和5年5月にはサツマイモの苗植え、秋には掘り起こし作業を行いました。農作業が苦手な人、得意な人がいますがみんなで励まし合い得意なことはお互い教え合いながら作業をしました。作業所だけでなくデイサービスの利用者様、地域のボランティア、スタッフみんなで一つの畑に入り汗を流しました。「すごいね、力持ち!」「綺麗に植えられたね!」など声掛けをすることで普段は作業がはかどらない利用者様も生き生きと動く姿が見られました。それぞれの特性に寄り添い、得意な作業だけでなく協力して一つのことをやり遂げる力や喜びを感じてもらっています。それぞれがステップアップしていけるよう支援をしていきます。

延利用人数 2,832人

#### ② つどい100JOB

赤い羽根福祉基金助成事業最終年度を迎え、相談件数は3年間で77件、そのうち参加に繋がった人は46名でした。一般就労に繋がった人は3年間で4人でした。本人が相談に来るだけで参加には繋がらないケースや、家族だけが相談にくるケースもありました。参加に繋がった人の中には、「家では寝てばかりなのにここでこんなに作業ができるなんて」という家族の言葉が聞きました。どこへ行っても続かない人が続けて来ている等、社会と繋がる第一歩を踏みだせているようです。

しいたけハウスで参加している参加者の一人は「仕事に来る日を増やしたい」と申し出たり「自分から話すことが増えてきてよかったと思う」と話しています。人とのコミュニ

ケーションすら取れなかった人たちが変わっていく姿を目の当たりにし、助成が終了した後もこの事業を続けていくことが地域課題に向き合うことの一つだと感じています。今後も今まで通り相談を受け、参加者の受け入れを行っていきます。

延利用人数 934 人

#### 4) 障がい者等日中一時支援事業（長浜市と米原市の委託事業）

作業所終了後の作業所利用者様（18歳以上）さんをお預かりし、安心して過ごせる場の提供とご家族の負担軽減・就労支援を行いました。

延利用人数 232 人

#### 5) 高齢者よりあいどころ

今年度より徐々に活動の幅を広げていき、長いコロナ禍で自宅に閉じこもりがちになっていた高齢者の方々に集ってもらい活動して頂きました。地域交流の場となり、また個々の能力を発揮して頂く事ができました。

##### ① 七条

前年度からの体幹トレーニング、ラスクやジャム作りに加えて6月より週3回のカラオケも始めました。たくさんの方に集って頂き好評ではありましたが、9月より新規事業のためカラオケはつどい庵へ、トレーニングは布勢町会館へ移動することになりました。

延利用人数 544 人

##### ② 布勢あいのたに

週1回布勢の会館をお借りして体幹トレーニングと太極拳を実施し、体力作りに励んでいます。ロータスカフェでは蓮の最盛期にカフェ運営に参加して頂きました。

延利用人数 1,052 人

##### ③ つどい庵

6月より週3回のカラオケを始め、地域の方々に気軽に集まって頂く場を設けました。また9月からは七条のカラオケと合併したため週5回となり、運営の方にもたくさん携わっていただくことができました。

延利用人数 1,017 人

### 3. 事業の実施に係る事項

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従業者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
介護保険法 に基づく介 護保険事業	① 居宅介護支援事業 (ケアプランつどい)	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 常喜町 885	3名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 介護件 821 件 総合事業 395 件	15,558
	② 通所介護事業 (デイサービスつどい)	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 常喜町 671-1	11名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 6,705 人	40,289
	③ 通所介護事業 (七条つどい)	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 七条町 320-4	9名	長浜市内及び米原市内 在住の要支援または要 介護者 年間延べ 5,581 人	40,476
関連事業	① 就労継続支援事業 (B型作業所つどい) (つどい 100JOB)	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 常喜町 885 その他受 託場所	7名	長浜市、米原市内在住 の障がい者 働きづらさを抱えた方 年間延べ 3,766 人	36,070
	② 日中一時支援事業	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 常喜町 885	1名	長浜市・米原市内の作 業所利用者様（高校卒 業者） 年間延べ 232 人	392
	③ 高齢者活躍よりあいどころ事業 (七条つどい体幹トレーニング) (よりあいどころあいのたに) (つどい庵 カラオケ)	R5.4.1 ～ R6.3.31	長浜市 七条町 320-4 布勢町 123	3名	地域の 65 歳以上の高 齢者 年間延べ 2,613 人	5,167

## [II] 令和 5 年度 収支決算報告・・・別冊

参考資料・・・P10

## 令和6年度 事業計画(案)

### 1 事業方針

- 1) 認定特定非営利活動法人つどいは、定款第3条、第4条、第5条の定めるところにより、地域住民のニーズを把握し地域に密着した事業展開を継続します。
- 2) 組織内のルール作りや管理体制の充実を図ります。
- 3) 研修計画に沿ってオンライン等も活用し、各職員がスキルアップできるような支援を行います。

### 2 事業の具体的内容等

#### 1) 居宅介護支援事業

##### ① ケアプランつどい

##### ア 自立支援の理念を踏まえたケアマネジメント

介護が必要になっても出来ることは自分で続け、住み慣れたまちで自立した生活を送ることができるよう支援していきます。地域資源の活用、地域との連携を念頭にケアマネジメントを行っていただけるようにします。

##### イ 安定した利用者様数の確保

新規依頼については、今後も実績を維持していくために、できるだけ受け入れしていくようにしていきます。地域包括支援センター等との、顔の見える付き合いを大切にしていきたいと思えます。

##### ウ 信頼関係の構築、情報管理の徹底

利用者様とご家族の状況やご意向を伺い、必要なサービスを提案致します。ご本人、ご家族に寄り添うこと、迅速な対応、丁寧な対応を行うことで、信頼関係を構築していくようにします。また、関係機関には適切な情報提供や共有を行い、個人情報への遵守に努めます。

##### エ 介護支援専門員の資質の向上

事業所内での会議を週1回継続し、困難事例等に対してはケース検討会を随時開催し、情報の共有や検討を行います。スキルアップのため研修への参加、他事業所との事例検討会や研修を引き続き行うことで、ケアマネジャーの質の向上を図っていきます。

##### オ 地域に根差した事業所

西黒田地区の方からのご相談も多いので、できるだけ対応していきたいと思えます。地域資源を使い、住み慣れた西黒田での暮らしを継続できるようにしていきたいと思えます。

##### カ 災害対策、感染症への対応

感染症や自然災害が生じた場合であっても、介護サービスが安定的・継続的に提供できるよう、日頃より委員会の開催、研修の受講、訓練を行っていきます。

#### 2) 通所介護事業

##### ① デイサービスつどい

ア 利用者様が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、一人一人の心身の状態を把握し、自立支援に向けた専門的なサービスを提供します。

イ 利用者様やご家族の状況や意向を把握できる体制作りにも努め、相談機能の充実を図ります。

ウ 介護技術や法令等の内部研修を実施、また外部の研修にも積極的に参加し、職員の資質の向

上とよりよいサービスの提供に努めます。

- エ 事業所自ら地域の方々や地域活動に働きかけ、介護相談や出前講座に気軽に来てもらえるような「地域に開かれた福祉拠点」を目指します。
- オ 職員の気づきを大切にとらえ、ヒヤリハット報告や事故報告等の内容を共有するとともに、原因の究明や解決に対する対策を講じて安全な運営に努めます。
- カ 日頃から一人一人が感染予防に努め、感染症や災害が生じた際も必要なサービスが継続して実施できるよう業務継続計画（BCP）の見直しを定期的に行い、職員に訓練や研修を実施します。

## ②七条つどい

- ア 利用者様一人ひとりの心に寄り添うことを大切にして、利用者様を心身ともに支え、優しさ、楽しさ、明るさにあふれた関係を保ちます。
- イ 利用者様の生活の質（QOL）や心身機能維持向上のために必要に応じて、個別機能訓練計画に基づいて個別機能訓練を行う。自立支援・重度化防止に努めます。
- ウ 利用者様の外出の機会を提供することで社会参加を促し、交流やコミュニケーションを図ることで社会的孤立感を解消する。又、日中の通所利用により家族の介護負担を軽減に努めます。
- エ 地域の方との交流、関係機関との連携を図り、理解を深めていただくとともに地域の要望に基づいた愛される施設を目指します。
- オ 感染症や災害など突発的な不測の事態が生じた場合でも、介護サービスを安定的に継続できるように、すべての職員が計画内容や役割を把握し適切な対応、行動ができることに努めます。定期的な訓練・研修の実施を行います。
- カ 利用定員を増やし安定した収入で経営ができるように目指します。

## 3) 就労継続支援事業

### ①B型作業所つどい

- ア 令和5年11月より、干し芋事業が始まり、苗植えから収穫、加工作業に携わりました。今年度も昨年同様さつまいも苗植えつけをしました。昨年以上に加工・販売数も増える予定ですので、干しいも事業に関わる利用者様の指導を引き続き行います。
- イ 昨年度から受託を開始したお菓子の詰め合わせ作業やあいのたにのカフェ・ロータスでの作業など、つどいならではの事業で利用者様の皆様にたくさんの経験を積み重ねて頂き、それぞれが成長していけるような支援を続けます。
- ウ 法人が進める農福連携を周知するために立ち上げた新しいブランド「chitoteto（ちとてと）」。地域内外のみなさんに活動を広く知っていただけるように商品にロゴマークを付け販売しています。作業の幅を広げ、更なる利用者様数の増員と共に、販売先の増加による平均工賃の向上を目指します。
- エ 利用者様の個性に寄り添った支援に心掛け、更なる信頼関係を築けるように支援員のスキルアップをしていきます。

### ②つどい100JOB

- ア 助成が終了後も引き続き引きこもりなど社会での生きづらさを抱えた方が、新たな生きがい、自分の居場所を見出せる居場所を提供し社会参加の第一歩が踏み出せるよう事業を推進していきます。

イ 年々観光客が増えているあいのたにでの活動や昨年度始まったさつまいもの収穫、加工部門、新しい機械を導入したせんべい部門に新規相談者が参加しやすいように支援体制を整えていきます。

ウ 支援員のスキルアップのため研修の参加率を上げより良い支援を目指します。

#### 4) しょうがい者等日中一時支援事業（長浜市と米原市の委託事業）

前年度に引き続き、保護者、お子さんが安心して過ごせるようスタッフ間の情報共有や連携を確実にを行い、事故のないよう支援を行います。

#### 5) 高齢者よりあいどころ

##### ①布勢あいのたに

ア 体幹トレーニングと太極拳

引き続き週1回行い、体力・免疫力向上に努めます。

イ カフェ・ロータス

カフェの運営と管理に携わって頂きます。ジャムやラスク作りも継続します。

##### ②つどい庵

引き続き週5回のカラオケを行い、運営と管理に携わっていただきます。

#### 6) 助成金

地域の課題に直結した地域課題に耳を傾けながら、つどいが新しい公共の受け皿としての役割を果たすため、活動の拡充をはかるため引き続き助成金・交付金などの申請にチャレンジしていきます。

助成事業については地域向けに報告会などを開催し助成終了後の事業継続を見据えた活動をおこないます。

#### 7) つどいサポーター（賛助会員）について

つどいの活動を一人でも多くの方に知っていただくよう SNS や広報誌で報告し、当法人の趣旨に賛同し、ご協力いただける会員の増加を図ります。

正会員として法人の思いに賛同していただいた方には法人の運営にも関わっていただきご意見等もいただきながら、より良い法人を目指します。

#### 8) 情報の公開について

「つどい愛」を年間3回以上発行し法人の活動状況等の周知を行います。

ホームページや内閣府 NPO 法人ポータルサイトを随時更新し、その時々々の旬な法人情報を会員様や地域の皆さんにお知らせします。

フェイスブックやブログ等 SNS でリアルタイムな情報公開と若い年代層のファンづくりに努めます。



## (収益事業数値目標)

内 容	利用者様数(人) (年間延べ数)	売上(請求) (単位:千円)	備 考
居宅介護支援 ・要介護(1・2) (3~5) ・総合事業	600 240 360	8,400 4,080 1,620	50人×12月×14,000円 20人×12月×17,000円 30人×12月×4,500円
ときわ亭 デイサービス	7,800	62,400	利用者様数1日 25人 25人×26日×12月×8,000円
七条つどい デイサービス	7,800	67,860	利用者様数1日 25人 25人×26日×12月×8,700円
B型作業所つどい	3,240	25,260	利用者様数(1月あたり) 270人 270人(1月)×12月×6,500円 受託収入 350,000円×12月
日中一時支援	240	528	通年利用者様数1人 1人×20日×12月×2,200円
布勢あいのたに つどい庵	240 1200	72 120	利用者様数1日5人×48回×300円 利用者様数1日5人×120回×100円
※利用者様数は令和5年度実績を参考に試算			